

- Cross・×・かける 企画-

地域芸術祭 × ウィズコロナ

- 奥能登国際芸術祭の現在 -

21世紀に入り、地域芸術祭は各地で開催され、少なからぬ成果をあげてきました。しかし新型コロナウイルスの出現とともに多くが延期され、あらためてそのあり方が問われています。2020年→2021年開催へと延期となった"奥能登国際芸術祭"の具体的な成果と進行中の現場を踏まえ、ウィズコロナ時代の新しい地域芸術祭の姿や可能性について考えてみたいと思います。



金沢芸術創造財団 芸術・交流アドバイザー

黒澤 伸 氏

×

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局

長江 健太 氏



講師：黒澤 伸 氏 (くろさわ しん)

略歴：1959年東京生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修了。1989年より水戸芸術館現代美術センター、1999年より金沢21世紀美術館と、2つの美術館の立ち上げに学芸員として関わる。専門は美術館教育で、レジデンス・プログラムやコミッションワークなどの、アーティストと観客がダイレクトに関わるプログラムを数多く制作。金沢21世紀美術館が開館して以降は金沢市の工房・研修施設である金沢湯涌創作の森所長を務め、2017年より公益財団法人金沢芸術創造財団金沢21世紀美術館副館長、2020年より現職。

講師：長江 健太 氏 (ながえ けんた)

略歴：千葉出身。珠洲市役所勤務。千葉大学工学部建築学科卒業。同大学大学院教育学研究科修了(芸術学)。

学生時代に総務省主催の域学連携プロジェクトで珠洲を訪れ、珠洲の人々が営む日常に感動。その後、大学院修了とともに珠洲へ引越越し市役所に入庁。入庁以来、芸術祭実行委員会の事務局を務める。現在入庁6年目。

事務局での担当は作品制作の地元調整及び芸術祭の運営全般。

定員 30名 参加費：無料

場所 オンライン開催です。お申し込み受付の際に配信 URL 情報をお送り致します。

申込

お名前・連絡先メールアドレスをご記入の上、下記メール宛にお申込みください。

kanazawa-maker@ml.jaist.ac.jp 北陸先端科学技術大学院大学 永井研究室 宛